

A.I.（現代こども学科・1 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

大学卒業後は外資系の客室乗務員になりたいと考えているためセメスター語学留学に参加して英語のスキルを養いたいと思ったから。また、高校の時に新型コロナウイルス流行の影響で 1 年間の留学に参加することができなかったため念願の長期留学に参加したかったから。そして、ネイティブのアメリカ人が日常で使っている英語を身につけたかったから。

② 留学決定から出発までの準備期間

出発前は単語の勉強を主に頑張りました。また、高校 2 年生の頃から英会話に通っていたのでそこで Speaking 力をつけました。ビザ申請の手続きはビザ申請代行サービスの方にお願いしました。自分で手続きをするよりミスが減らせると思ったのでお願いすることにしました。少しお金はかかりますが、全て会社の方がしてくださるのでとても簡単で良かったです。

③ 現地到着後

日本出発前に PIA にお迎えサービスをお願いしていたのでお迎えの方が空港に迎えに来てくださいました。学校初日はオリエンテーションがありました。そこではクラス分けのテストを行いました。また、ディレクターのラヒにアメリカではいけないこと（未成年飲酒、薬物使用など）や公共交通機関の使い方、hop カードの購入方法などを教えていただきました。そして、Warner Pacific University の学生の方に学校を案内していただきました。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

学校内の施設は全て使うことができました。体育館やジム、図書館などを使うことができました。学校には大きな食堂があり、毎日そこで昼食をとっていました。学校には大きな窓があるので太陽の光が入ってきていつも学校の中が明るかったです。私は English Conversation Partner の制度を利用して、毎週水曜日の放課後に私のパートナーと英会話をしていました。彼はとても日本に興味がある人だったので毎回とても楽しくお話をすることができました。

b. 授業内容、課題、試験

語学学校の授業は Grammar, Reading, Writing, Speaking & Listening のクラスがありました。授業内容は教科書をもとに進めていくような感じでした。また、宿題はほとんど毎日あ

りました。クラスによって単語テストが定期的に行なわれていましたが、1つのタームに中間テストと期末テストがありました。もしもクラスについていけなくても放課後に個別相談を申し込むこともできるので安心でした。

c. サービスラーニング・コミュニティサービス

私はサービスラーニングを履修していました。秋タームの金曜日の午前中のみサービスラーニングとコミュニティサービスを履修している生徒は授業を受ける必要がありました。その授業内容は履歴書の書き方やカバーレターの書き方、面接練習などです。また、12月に約10日間サービスラーニングを履修している生徒のみ授業がありました。そこではアメリカでのタブー行為やジェスチャー、発音の練習、アメリカの歴史、差別についてなど多くのことを学びました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私はインターナショナルスクールで3歳児のクラスと一年生の日本語クラスのサポートのボランティアとTrash for Peaceというアフタースクールをしている団体でボランティアをさせていただきました。インターナショナルスクールの日本語クラスに在籍している児童や生徒は日本人とのハーフの子どもであったり日本人のクォーターであったりと日本に繋がりがあつた子どもたちでした。Trash for Peaceのアフタースクールプログラムにはアパートメントに住んでいる子どもたちが対象でした。

⑥ 現地での住まいについて

私はホストマザーとの2人暮らしでした。私専用の部屋はもちろんのこと私専用の洗面所もありました。朝食と昼食は自分で作らなければなりませんでした。晩御飯はホストマザーが作ってくださっていました。毎晩18時半から晩御飯を食べ始めると決まっており、食事中は彼女と今日何があつたのか、日本について、アメリカでの差別についてなど多くのことを話し合いました。通学方法はバスでした。また、家から学校までは徒歩とバスで約45分でした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

私は休暇中に私の叔母が住んでいるトロントやバンクーバー、ニューヨーク、私の父が大学生時代にお世話になつたホストファミリーが住んでいるロサンゼルスに行きました。ニューヨークは私を含めた日本人3人と語学学校で仲良くなつたドイツ人、韓国人の友達と行きました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中楽しかったことは昼食時間です。毎日私ともう 1 人の日本人とドイツ人 2 人と韓国人 1 人と一緒に昼食をとっていました。思い出に残っていることはスクールトリップで行ったシアトルです。私たちのディレクターのラヒと語学学校の先生のスティーブと約 20 人の友達と行きました。そのトリップではさらに友達同士の交流が深まり、また色々な観光地に連れて行ってくださったのでとても良い思い出となりました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

サービスラーニングの授業で行った履歴書づくりとカバーレターづくりが大変でした。それ以外は特にありません。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

特にありません。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

サービスラーニングやコミュニティサービスをとる方は履歴書やカバーレターを作るのでパソコンの持参は必須です。また、Writing の授業でエッセイを書くのでパソコンは必要だと思います。そして、ポートランドはとても雨が降り場所なのでレインコートを持っていくと良いと思います。冬は日本と同じくらい寒いのでヒートテックやマフラー、手袋なども必須です。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私は渡米前から日常会話をすることができていましたが、留学後はさらにあまり頭で考えなくてもスラスラと英語を話せるようになりました。また、授業で発音の練習をするので綺麗なアメリカアクセントの英語を話せるようになったと感じます。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

自分から積極的に話しかけにってください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

外資系の客室乗務員になることです。

V. 写真



↑この写真はインターナショナルスクール日本語 3 歳児クラスの児童たちに絵本を読んでいるときの写真です。私がこの絵本を読んでいるととても興味津々だったので可愛かったです。



↑この写真は Trash for Peace というアフタースクールプログラムの団体で私が子どもたちに折り紙レッスンを行ったときの写真です。私は日本から何枚か折り紙を持参していたので私のスーパーバイザーに折り紙レッスンをさせて欲しいとお願いをしてお時間をいただきました。

C. F.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

幼い頃から「ビクトリアス」などの海外ドラマやアニメがすごく好きで、海外に憧れを抱いていました。高校生の時もオーストラリアに留学するプログラムに合格していましたが、コロナの影響で中止となり念願の留学はできませんでした。そのため、大学生になったら絶対に留学に行きたいと考えており、一年生の時から同志社女子大学の留学プログラムを色々調べ、自分にはどの留学プログラムが良いのか考えました。その結果、セメスター語学留学を選択しました。その理由として、元々半年ほど留学に行きたいと考えていたことと、英語自体を勉強したいこと、ホームステイをしたいことなどがありました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学に行くことが決定したのは 2023/5/31 のことでした。少し前に面接を受け、合格発表の日まですごく緊張していたのを覚えています。私は、第一志望の留学先をアメリカにしておき、運のいいことにアメリカの枠に合格することができ、とても嬉しかったです。出発までの期間では、TOEIC を受験しました。これは、留学後にもう一度と TOEIC を受験して、どのくらい英語力が伸びたのかを知るためです。ビザの申請手続きに関しては、初めての経験だったのでわからないことだらけでしたが、調べてやればなんとかなります！とにかく早く取り掛かることが大切です。

③ 現地到着後

現地に到着後、ポートランド空港にホストファミリーがお迎えに来てくれていました。ホストファミリーの車に乗せてもらって、空港から 10~15 分で家に着きました。アメリカに到着したのが夜だったので、次の日はなにも予定を入れず、荷解きなどをしました。そして、アメリカ到着の 2 日目で学校のオリエンテーションが始まりました。オリエンテーションでは、クラス分けのテストを受けたり、キャンパス内の説明があったりします。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

私が通っていた PIA はそこまで広い施設ではありませんでしたが、綺麗だったので何なく自由なく快適に過ごせました。特にカフェテリアのご飯が美味しかったので、よくフライドポテトをランチタイムに食べていました。PIA の先生は、どの先生もとても親身になってくれる方々でした。また、日本人の生徒を何人も見てきているので、日本人の英語の発音の癖などを理解してくれていたように感じました。

b. 授業内容、課題、試験

授業に関しては、月曜日から木曜日に通常の授業があり、金曜日はサービslラーニングの授業がありました。クラスによって違いはあると思いますが、課題が多い授業もありました。ただ、毎日 15 時には授業が終わるので、課題をやる時間を設けられるかと思います。試験は、中間テストと期末テストがあります。中間テストと期末テストは成績の大部分を占めるので、きちんと勉強することをおすすめします。

c. サービスラーニング・コミュニティサービス

私は、サービスラーニングのコースを選択していました。サービスラーニングは、ボランティアをするコースなのですが、前半の fall term は毎週金曜日に午前中のみ授業があり、後半の winter term で実際にボランティアを行います。ボランティア先は、自分で好きなところを 2.3 箇所選択することができます。私は教育系に興味があったため、ポートランドのインターナショナルスクールにボランティアに行きました。日本語を勉強する小さな子供たちと関わることができて、本当に楽しく、貴重な経験になりました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブには所属しておらず、ボランティア活動は上記の通りです。課外活動に関しては、PIA ではいくつかの Activity が用意されていました。私はその中で、Seattle Trip と Pumpkin Patch に参加しました。PIA の生徒が参加する Activity なので友達を作るいい機会になると思います！

⑥ 現地での住まいについて

私のホストマザーはインドネシア人でした。そのため、食事はインドネシア料理がほとんどでしたが、私が食べたいものを作ってあげたいといつもリクエストを聞いてくれました。家から学校まではバスで 30-40 分でした。初めてバスに乗る時は緊張しましたが、毎日乗っていると慣れてくるので大丈夫です！

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はニューヨークに旅行に行きました。今回の留学でアメリカに行くまで海外に行ったことがなかった私は、ニューヨークに行って本当にワクワクしたのを覚えています。また、帰国する前には、留学先で仲良くなった韓国人の女の子と 2 人でラスベガスに行きました。もちろんずっと英語で会話をする旅行であるため、心から楽しみつつ英語の成長も感じられる貴重な経験となりました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中で楽しかったことは、ホストファミリーと本当の家族のように仲良くなれたことです。初めて会ったときはうまく英語を話せなかったり、気を遣ってしまったりしていましたが、帰国直前にはなんでも話せる存在になっていました。毎週日曜日には、ホストマザーが通っている教会に一緒に行っていました。そこで同世代くらいのネイティブの友達もできて、本当に楽しかったです。また、ラスベガスと一緒に旅行に行った韓国人の女の子と出会えたことは本当に良かったと思っています。言葉の壁があるにも関わらず、本当になんでも共有しあえる存在になれたことは最高の思い出です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

私は5ヶ月間留学をしましたが、正直3ヶ月目まで帰りたいと思う瞬間がありました。現地に行って、初めて実感する自分の英語力のなさに悔しさを覚えたり、日本の友達や家族に会えない孤独感があったりしました。日曜日に行っていた教会も、最初は苦痛で仕方なかったです。なぜなら周りの子たちはみんなネイティブなので、話すスピードもとても早く中々会話についていけなかったからです。でも最後の2ヶ月は、心からこのアメリカにいたいと思うようになっていました。ホストファミリーとも教会のみんなとも本当に楽しく過ごせました。最初はしんどいかもしれませんが、楽しくなってくるのであまり思い詰めないほうが良いと思います！

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

これは留学に行く前からわかっていたことですが、もちろん湯船はありません。私が留学に行っていた期間は冬だったので、シャワーでの生活はすごく寒かったです。また、公共交通機関が時間通りに来るとは限りません。遅れてきたり、逆に時間になっていないのに先に出発していることもありました。そのため、日本にいる時よりもさらに時間には余裕を持っていたほうが良いと思います。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンはアメリカの大学の課題でも、同女の課題でも使用するため必需品です。私は、体温計を持っていくのを忘れてしまったのですが、アメリカで熱を出した時困ったので、できれば持参した方が良いでしょう。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学に行ったことにより、外国人と英語を話すことに対する緊張がなくなりました。留学に行く前は、バイト先で外国人に話しかけられた時とても緊張したり不安に思ったりしていましたが、留学後は自ら話に行けるようになりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は本当に今しかできない経験です。迷ったら行くべきです！苦労することももちろんありますが、私は行ってよかったと心から思っています！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

後は就活に真剣に取り組み、自分が納得できる職につけるよう努力していきたいと思います。

Y.O.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

実際現地でしか味わえない文化の違いや、食の違いを肌で感じることができると思ったから。語学力の向上は自分の努力次第では日本でも可能だが、スピーキング力とリスニング力をあげるためにはやはり現地に行くことが大切だと感じたから。それに加えて将来英語を使う職業に就きたいと幼い頃から考えていて、休学という形ではなく単位も取得できるこのプログラムに入学する前から参加したいと思っていたため、募集が始まってから着実に準備をした。

② 留学決定から出発までの準備期間

行く前に語学力をあげようと、TOEIC の『金のフレーズ』の単語を主にやっていた。出発までは持っていくものを考えたり、買ったりするのに追われていた。ビザ申請の手続きは自分で行ったため資料作成には 4 時間ほどの時間がかかった。実際大使館に行き、ビザ申請をする時の面接は数分で終わり、難しいことは特になかった。準備で一番時間がかかったのは何を持っていくかとそれを実際買いに行くことだった。

③ 現地到着後

到着するとまず PIA の係の方が旗を持って待っていて、その係の方と集合した後にはホストファミリーが空港に迎えに来てくれた。初日の登校はホストマザーが学校まで車で送ってくれた。手続きはあまりなく、オリエンテーションではクラス分けのテストを受けた。そのあと、施設の説明を留学生のサポーターであるギースという現地の大学に在籍している学生にしてもらい、案内をもらった。特に難しいことはなかった。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

大学内は清潔感があり、どの場所も使うことができた。ジムや図書館なども大学の学生と同様に利用することができる。留学サポーターのスタッフは何事も気にかけてくれていた。そのため、困ったときにはいつでもどこでも助けてもらえた。とても勉強がしやすい環境だった。

b. 授業内容、課題、試験

授業の内容はさほど難しくは無いが、やはり全て英語なので理解するのが難しい部分もあった。しかし他の国の学生は授業中でもお構いなく質問をずっとして、自分も授業中

に質問しやすい環境だった。課題は普段の大学生活よりは多く感じたが、日本とは違ってアルバイトもなくホストファミリーとご飯を食べるために 6 時には家に絶対帰っていたため課題をする時間が多くあり、できないということはなかった。試験は中間テストと期末テストがあり、その結果はとても気にして勉強をしていた。授業をしっかりと受けていれば基本的には解ける問題だった。

c. サービスラーニング・コミュニティサービス

コミュニティサービスをとっていた。そのためボランティアと授業の両立は少し大変だった。でも、両方にとって良かったと思う。月から木は学校へ行き、金曜はボランティアに行くという日々はとても充実していた。先生たちとも話し、ボランティア先で子供と話し、とても良い経験だったと思う。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

コミュニティサービスの中で高校へ日本語を教えに行くというボランティアをしていた。現地の同年代ぐらいの子供たちと話すことはより語彙力を向上させてくれたと思う。言語だけではなく 1 日一緒にいることにより文化や高校の仕組みなどを知ることができ、日本と比較して学ぶことができた。

⑥ 現地での住まいについて

通学距離は私の家は少し離れていて、1 時間 15 分ほどかかるところで朝起きるのは大変だった。しかし早起きがルーティン化されてとても良かったと思う。ホストファミリーはみんな優しくて料理もすごく美味しかった。私が好きと言ったものをよく作ってくれたし、誕生日の時はパーティーもしてくれてとてもいい思い出だった。最初はやはり緊張したが、最終的には仲良くなれて良かった。

⑦ 長期休暇の過ごし方

1 ヶ月ほどの休暇があり、そこで私は PIA の友達とニューヨークとカリフォルニアに行った。アメリカにいる間に行くと距離も近いしこんなにもアメリカに滞在できることはこれから先ないと感じたため色々なところ遊びに行った。ニューヨークに 3 泊 4 日、カリフォルニアに 4 泊 5 日で行って、とても充実した時間を過ごした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学で特に楽しかったのは PIA のプログラムでシアトルに行ったことである。様々な国

の人がいる中で観光に行くことができ、英語を話しながらみんなで楽しく旅行に行くことができたのがとても良かった。観光もでき、仲も深まりとても楽しい時間だった。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

何も分からない状態の中一人で新しい世界に飛び込むのはとても勇気のあることで、周りの方は優しくなかったけれどやはり英語が話せないと何も分からないし不安だった。どこに行くにも当たり前のように英語を使用するためとても嫌になった時期はあった。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

私が想像していた以上の違いはなかったが、家の中では靴であるため床に座ることができず、リラックスできる空間が限られていることに驚いた。そして、食生活が全然違っていたため最初は食べることができなかった。慣れていくにつれて違いを感じなくなり快適になっていった。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必ず持参すべきだと思う。アメリカの大学は基本的に紙で行うため課題をするのにパソコンは必要なかったけれど、同志社女子大学からの課題もあるため、パソコンを使用できる環境がある方が課題をしやすかった。その他日本食など自分が少しでもしんどいと感じた時に心休まるものを持っていくべきだと思う。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私は元々リスニングがとても苦手で最初は現地の方とコミュニケーションをとるのも大変だったし、理解もできなくて、そしてもし理解ができてもしすぐに話すことができなかった。しかし留学が終わる日に近づくにつれて、現地の方にも上達したと褒めていただけることが多くあって自分の成長を感じた。言語だけではなく、人前で発言することや疑問に思ったことをすぐ質問することへの抵抗がなくなった。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

最初はしんどいし自分は英語もできないしそんな勇気もないと思っていたとしても留学することにより何か一つでも自分の力になることは必ずあるので機会があるのならばできるだけ挑戦してみたい。英語力をあげるために留学をしているので自信を持ってカタコトだとしても話していくべきだと思う。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は将来英語を使用する職業に就きたいと思っていて、そのために英語力向上として留学をした。留学で培った英語力を落とすことなく将来に活用できるようにしたいと考えている。

V. 写真



↑これはみんなでシアトルに行った時の写真である。観光した後にサンセットをみんなで見に行き写真を撮った。とても良い思い出だった。



↑これは PIA の友達とニューヨークに行った時の写真である。日本人、韓国人、ドイツ人の 3 カ国の皆で行き、とても楽しかった。英語を話しながら旅行できることは語学学校でできた友達ならではのことだと思う。